

令和6年度 第2回 若葉区民対話会

(第17・18地区町内自治会連絡協議会(白井・更科))

令和6年10月5日(土)

〈次第〉

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 スクラップヤードの現地視察(2か所)
- 4 意見交換会

(1) 現地視察後の感想

区長)

- 1か所目に現地視察を行ったスクラップヤードは、平均35台の車両の出入りがあり、活発な印象を受けた。また、前の道路が狭く、トラックの搬入により渋滞が発生し懸念している。
- 2か所目に現地視察を行ったスクラップヤードは、粉塵被害があり農家や近所の方の被害も深刻だと認識した。現地視察の重要性を認識した。何か区としてもできることを考えていきたい。

住民・参加者)

- 今日はいつもと比べて、1割程度の騒音であった。土曜日は比較的事業者の出入りが少ないので、平日と比べて静かである。近隣住民は、騒音等により、体調不良の方もいる。私たちはその場で生活しているので、市等の方に知ってもらって良かった。
- 今日は静かだった。いつもはユンボ(ビル解体で使用)を動かし、エンジン音により排気ガスの振動が大きい。外国人の土地の使用方法などを検討するとともに、既存事業者に対しても規制をかけて欲しい。国が動かないと県・市も動けないので、連携し規制を検討して欲しい。
- スクラップヤードのことについて事前に勉強を行ってきたが、現地視察することによりわかることもあった。特に近隣住民の方は騒音などの問題が深刻だと認識している。引き続き地域づくり支援課として課題を認識し取り組んでいきたい(若葉区地域づくり支援課)。

住民・参加者)

○改めて現場を見て、住民の方の生の声を聞いた。スクラップの保管、それに伴う騒音・振動の問題だけではなく、道路上のスクラップの散乱や搬入車両による一時的な道路の通行制限などの課題は認識した。来週から、どのような事業者指導が可能なのか動けるところから動いていきたい。また、他の部署にもまたがる事項（騒音・振動）も情報共有し連携していきたい（産業廃棄物指導課）。

○全体的に今日は静かだった。今日現地視察に行ったスクラップヤードの前の道路は狭く、交通事故が発生している。速度規制や通行規制など可能な範囲で指導を行って欲しい。

○行政頼りではなく、地域としても何ができるか提案していきたい。現在スクラップヤードが林立しているので、スクラップヤードを1箇所を集めるなどの方法がある。また、市街化調整区域なので事業者と地権者の合意で使用用途が決まっている、市街化調整区域のあり方についてこちらに関しても地域住民の意見を取り入れるなど、方策を検討して欲しい。事業者も大規模化しているので、今後の状況を懸念している。

5 閉会